

memo ソフト my_help の改善

情報科学科 27014520 山田智子

1 はじめに

私たちは、何か知識を得たときには度々メモを取る。しかし、そのメモの場所が思い出せない、あるいはメモを紛失した経験がある。あるいは、何度も同じことを web で検索することもある。そこで、探す手間や紛失する可能性を無くすために my_help という memo ソフトが開発されている [1]。しかし、より効率のいい知識習得には、それらの共有が必要と考える。本研究では、my_help の共有システムの開発を目標とする。

2 手法

2.1 my_help の開発コンセプト

ヒトの脳ではキーワードが手がかりとなって、違う分類、別の階層の知識、記憶を思い出す。my_help は、これを模倣し、コンピュータの中にある分類化、階層化された知識を直交補空間として呼び出すことができるシステムである。

2.2 my_help の特徴

my_help は emacs の Markdown である org-mode を利用したソフトなので、org-mode の export 機能を利用すれば HTML や LaTeX など様々なフォーマットに変換可能である [2]。

org-mode で作成した文章は emacs 以外でも利用できる。例えば、github では.md と同じ様に.org に対応している。しかし、my_help を使うには、emacs と org-mode の使い方を master しなければならない。

2.3 my_help の振る舞い

CUI/CLI のように terminal 上で動かすことができるので、command で呼び出すとすぐに起動する。terminal 上で my_help file 名と打つと起動する。file 名の前に以下の命令を書き、実行する。以下に emacs に関する my_help の一部を表示している。

```
> my_Help list emacs -c
- emacs のキーバインド
-
特殊キー操作
- C-f, control キーを押しながら 'f'
- M-f, esc キーを押した後一度離して 'f'
- 操作の中断 C-g, 操作の取り消し (Undo) C-x u
-----
cursor
- C-f, move Forward, 前 or 右へ
- C-b, move Backward, 後 or 左へ
...
```

my_help は shell 上の directory 位置によらずどこからでも呼び出せて、application を切り替えることなく参照できる。また、編集が手軽にできることから自分独自のメモを取るこ

とによって、記憶の定着を促すツールとしての活用を意図している。

3 my_help 課題

現在、my_help は自身の知識を memo として残すことができるだけのシステムである。しかし、より効率的な知識の習得方法として、AM/PM という考え方がある [3]。

AM(acquisition metaphor) 旧来の学習感。学習目標は個々を豊かにする、学習とは何かを獲得する (acquisition) ことであり、知るとは持つ、所有することである。学習という行為が非常に個人レベルに押し込められた感じがある。しかし、現在の社会では個人の能力が測られるという意味で、知識を所有することが不可欠である。

PM(participation metaphor) 新しい学習感。学習あるいは学習者とは参加者であり、テキストや教授者から知識を得るのではなく、自らも参加者になって知識を共有する。学会活動も学習の一部と考える。研究者が学会で認められるということが、その分野での用語を使って参加者とコミュニケーションを取れることであり、論文集を出すことや初心者向けのテキストを書いたりする活動も学習支援のひとつ。

自分で作成した my_help を公開することによって、

- 自分の間違いが修正される。
- 人に教えることによって、知識の定着が促進される。

ことが期待される。

4 開発目標

本研究では、my_help 内にある知識を共有できるようなシステムを開発することが今後の目標である。具体的には、

1. git の repository
2. web による表示
3. point 付加による ranking

などを取り入れた共有システムを作成する。

参考文献

- [1] https://github.com/daddygongon/my_help, Daddy-gongon, (18/09/16 accessed) .
- [2] <https://qiita.com/dwarfJP/items/594a8d4b0ac6d248d1e4>, (18/09/16 accessed).
- [3] “On Two Metaphors for Learning and the Dangers of Choosing Just one”, Anna Sfard, Educational Researcher, 27(1998), 4 - 13.